

## 伊勢原市

## No.132・138・206 遺跡

調査期間 20090501～継続中

所在地 伊勢原市上粕屋

時代

旧石器  
縄文  
弥生  
古墳  
奈良・平安  
中・近世

作成日:20090611

## 概要

本調査は、中日本高速道路株式会社を事業主体とする新東名高速道路建設事業に伴う埋蔵文化財発掘調査です。

本遺跡は、小田急小田原線伊勢原駅の北西約3kmの地点に位置します。

本遺跡は、鈴川によって形成された上粕屋扇状地上にあり、一之郷から和田内にかけての台地上と大山山麓東南縁の丘陵上にあります。調査区は1区から4区まであり、1区・2区が台地上に、3区と4区が丘陵上にあります。

1区・2区のある台地の南には谷戸を挟んだ対岸には、過去に調査が行われ中世～縄文時代の遺構・遺物が確認された御伊勢森遺跡。縄文時代の遺構・遺物が見つかった神成松遺跡が所在します。西方約1.5kmには同事業で当財団が2007年4月より発掘調査を行っている西富岡・向畑遺跡が位置しています。

現在は1区東、1区西と4区北、4区南を調査しています。1区東では、中・近世の土坑、溝状遺構。奈良・平安時代の竪穴住居址、円形土坑、ピット、溝状遺構が確認されています。4区南(写真オレンジの柵より手前の高い部分)では、中・近世の溝状遺構、弥生時代の土器が確認されています。またこの北側に位置する谷戸(写真手前側の低い部分)を4区北とし、谷戸内にトレンチを設定し、調査を行っています。



▲1区 調査区遠景



▲1区 円形土坑

す。現在のところ、トレンチから遺構は検出しておらず、遺物のみが確認されています。



▲4区 調査区遠景